

昨年11月の緊急要望に対し… 国交省、安全上考えられる最大限可能な方策。



羽田空港の航空写真

前号に引き続き、羽田空港騒音問題について、総合企画水道常任委員会において、質問をいたしました。

【ほんま進】
羽田空港の航空機騒音については、国土交通省から示された南風好天時に於ける北方ルートへの高度引き上げ方策に対して、県と連絡協議会は、その改善方策では不十分であるとして、昨年11月に行った緊急要望に対する国土交通省からの回答はどのようなものであったのか？

空港地域振興課長の答弁が、次の通りでした。
南風好天時に於ける北方ルートへの高度引き上げ方策に関する国土交通省からの回答ですが、まず開始時期については、連絡協議会からの要望に応え、当初予定していた羽田の国際線が増枠される3月末を待たずに、前倒しで3月6日から試行運用を開始するとの回答があり、それ以降の南風好天時の時に予定通り運用が開始されたことを確認しています。

今回の方策については、現時点で安全上考えられる最大限可能なものとしており、この試行運用の実施状況を見つつ、引き続き更なる改善策を検討していくと聞いております。

【ほんま進】
国土交通省は、連絡協議会の要望に応え、国際線増枠を待たずに開始したことは良かったが、しかし、今回の高度引き上げ方策は、改善策として不十分なままであり、騒音軽減策がこれに終わりというわけにはいかない。

今回の高度引き上げ方策について、県は、どう評価しているか、また、今後どのように取り組んでいくのか、伺いたい。

空港地域振興課長から県として、少しでも早く騒音軽減を図ることが必要ということ、この高度引き上げの試行運用が前倒しで開始されたこと自体は評価しているものの、委員指摘のとおり騒音軽減として不十分であり、更なる高度引き上げ、あるいは、飛行ルートの分散化が不可欠であると考えております。

県としても、今回の試行の状況を踏まえ、更なる改善方策を実施されるよう、引き続き国に強く求めてまいります。

羽田空港で贈答、滑走路が通ると、すべて千葉県の上を通過するということがある。

県が、国土交通省の回答をもって騒音軽減がなされたと満足せず、更なる騒音軽減を強く求めていくという姿勢は理解した。

今月から始まった北方ルートへの高度引き上げは、従前から求めてきた騒音軽減策であるが、今回の試行では不十分だと私も思っており、国に対しては更なる騒音軽減策を強く働きかけてもらいたい。

総合企画水道常任委員会において、質問をいたしました。

【ほんま進】
IR導入検討基礎調査事業において、具体的にはどのような調査を行うのか？

政策企画課長から
本事業においては、千葉県においてIRを導入する場合の課題や条件などについて、整理したいと考えております。

詳細については、今後話めていくこととなりますが、現時点においては、海外における運営状況や国内における官民合わせた様々な検討状況の整理を行い、併せて有識者やIR事業者へのヒアリングを行い、

①IR導入に伴う効果や影響
②IR事業者が求める整備区域のイメージ
③求められる行政の役割などを調査し、これまで抽象的なイメージとなりがちでしたが、数値なども入れて分析を行い、行政がIRの導入を検討するに際して、実務的に活用できる成果物を作成したいと考えています。

IR導入に一步前進!! 基礎調査実施へ…

【ほんま進】
IR導入検討基礎調査事業において、具体的にはどのような調査を行うのか？

政策企画課長から
国に提出されているいわゆるIR推進法案については、今国会において成立する見込みであると報道されており、その場合には、成立後1年以内に具体的な内容を定める実施法が制定されることとなります。

このため、本調査については、こういった国の動きに対応するため、遅くとも本年中には結果をとりまとめ、速やかに県内市町村に対する説明会を実施し、市町村と認識を共有した上で、検討を進めてまいりたいと考えています。

建設費・放射性物質を含んだ汚泥・ 柏井浄水場の埋設汚泥・ 各浄水場のセシウム数値など… 様々な質問を委員会にて発言。

【ほんま進】
総合企画水道常任委員会において、質問をいたしました。

建設事業費が前年度予算に比べ増えているが、増額となっている主な重点事業はなにか？

財務課長から
増額となっている主な重点事業としては、ちば野菊の里浄水場整備事業の1億1千万円、26年度は実施設計に係る経費を計上してまいります。

また、浄給水場の設備などの更新については、更新計画に基づき計画的に実施しているところですが、老朽化により急速更新の必要が生じた設備などの増加などにより、28億7千3百万円増の110億円を計上してまいります。

このなかで、柏井浄水場西側施設において過去に埋設された汚泥から硫化水素が検出されたことについて、詳細調査・実証実験に係る経費5千2百万円も計上してまいります。

さらに、管路の耐震化も重点的に推進していくこととしており、铸铁管更新工事については、17億9千8百万円を計上してまいります。

その他、配水管理テレメータ整備事業については、12億6千8百万円増の16億4千7百万円計上してまいります。

【ほんま進】
昨年6月の常任委員会では放射性物質を含んだ汚泥の仮置きは今年度中に全てなくなる予定という説明があったが、来年度の汚泥処理費用の予算措置はどのようなのか？

浄水課長から
仮置きしていた汚泥については、年度内に処分を完了するように計画してまいりました。先月の大雪などの影響により予定に遅れが出ていましたが、3月10日をもって全て処分を完了しました。

平成26年度の埋設汚泥処理費用の予算措置ですが、埋め立て処分が完了し、現在再利用可能なレベルであることから、その全量を再利用する予定としております。当初予算としては、今年度より24.5%減の約6億7千万円を計上してまいります。

【ほんま進】
柏井浄水場の埋設汚泥については、来年度計画している実証実験はどのようなことを行うのか。また、高度浄水処理施設の建設はいつごろになるのか？

浄水課長から
埋設汚泥対策については今年度の詳細結果を基に試験方法を最終的に決定する予定です。

【ほんま進】
高度浄水処理施設については、当初計画の位置で建設を行う場合は、埋設汚泥対策の完了後に工事を行うこととなりますが、埋設汚泥対策の完了まで4、5年を要すると想定しており、高度浄水処理施設の建設も同様に遅延することとなります。

建設位置については、汚泥対策と並行して建設位置の変更が可能な検討しておりますが、稼働している施設へ導入するため様々な制約があり、検討に時間を要します。

【ほんま進】
各浄水場の放射性セシウムの数値が下がったか教えてください。

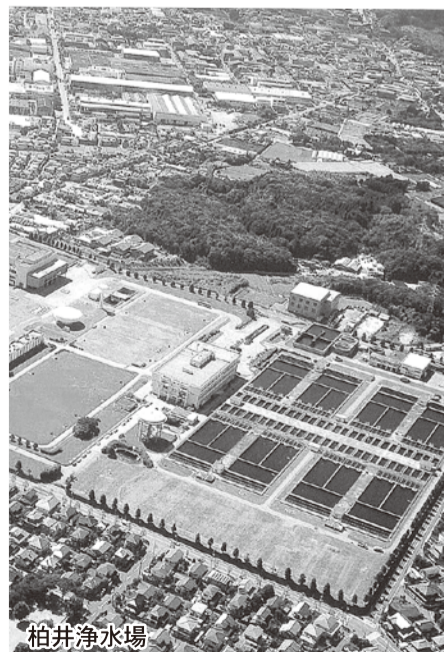
浄水課長から
2月19日現在の測定結果によると、1キログラム当たり柏井浄水場東側施設で14.3ベクレル、柏井浄水場西側施設で15.4ベクレル、北総浄水場で5.7ベクレル、ちば野菊の里浄水場で9.6ベクレルです。

以前に比べると全体に低下傾向にあります。

【ほんま進】
水道は生活の中でも一番大切なものであるのに、しっかりとやってもらいたい。

【ほんま進】
調査結果はいつごろまとめ、その後、その結果を

【ほんま進】
自治体のみならず、民間企業においてもIR整備に関する動きが活発化している。県には、他県に遅れることのないように、最大限の努力をしていただきたい。



柏井浄水場